

後期

2024（令和6）年度  
人間教育専攻心理臨床コース臨床心理学領域 06.02.17  
試験問題表紙

（3年以上の教職経験を有する者）

解答上の注意

1. 表紙1枚，問題用紙3枚，解答用紙4枚あるかどうかを確認のこと。
2. 問題1，2，3，4，5の全てに解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に解答すること。
4. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
5. 試験終了後は，解答用紙のみを回収するので，解答用紙以外は持ち帰ること。

人間教育専攻心理臨床コース臨床心理学領域試験問題  
問題用紙全3枚（その1）  
（3年以上の教職経験を有する者）

**問題 1** 以下の専門用語について説明しなさい。

問1 プレイセラピー

問2 投映法

問3 逆転移

**問題 2** パーソナリティ障害にはいくつかのタイプがあるが、1つのタイプを選び、説明しなさい。

**問題 3** 以下の問いに答えなさい。

問1 BPSモデル（Bio-Psycho-Social Model：生物心理社会モデル）について説明しなさい。

問2 BPSモデルを用いて不登校について説明しなさい。

人間教育専攻心理臨床コース臨床心理学領域試験問題

問題用紙全3枚(その2)

(3年以上の教職経験を有する者)

問題 4 問1～問10の( )の中に入る適切な語句を答えなさい。

- 問1 はっきりと確認できるストレス因に反応して、そのストレス因の始まりから3か月以内に情動面または行動面の症状が出現することを主な特徴とする精神疾患を( )という。
- 問2 抗精神病薬使用の影響などによって起こる錐体外路症状のうち、舌や口唇、下顎の不随意運動や四肢の粗大な振戦を起こすものを( )という。
- 問3 2つの刺激強度や性質の区別を感じる最小の刺激差を( )という。
- 問4 精神疾患などの影響により判断能力が不十分な場合に、財産管理、契約締結、遺産分割などの協議を支援し、当事者を保護する制度を( )という。
- 問5 クライエントの内発的動機づけを支援者が積極的に引き出すことによって行動変化を狙う面接法を( )という。
- 問6 行動変容ステージモデルにおいて、6か月以内に行動を変えようと考えている段階を( )という。
- 問7 精神の障害により事物の理非善悪を弁識する能力またはその弁識に従って行動する能力のない状態を法律用語で( )という。
- 問8 従属変数にみられる違いや変化が、独立変数と剰余変数のどちらの影響か不明確となることを( )という。
- 問9 測定データの数値が対象間の大小関係のみを表している尺度を( )という。
- 問10 公認心理師の法的義務については、「信用失墜行為の禁止(第40条)」「( )義務(第41条)」「連携等(第42条)」「資質向上の責務(第43条)」の4か条が定められている。

人間教育専攻心理臨床コース臨床心理学領域試験問題

問題用紙全3枚(その3)

(3年以上の教職経験を有する者)

**問題 5** 児童・生徒が悩みを教師に相談せず、抱えこんでしまうのにはどのような背景が考えられるか、3点以上挙げなさい。またそれを踏まえ、児童・生徒が悩みを教師に相談できるようになるために、教師に求められる資質や姿勢を3点以上挙げなさい。

なお、校種(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校など)や立場(担任、養護教諭、管理職など)を念頭に置いている場合には、その旨を明記しなさい。

# 問題訂正

人間教育改心理臨床コース臨床心理領域に問題訂正があります。

訂正箇所	問題 1 問 2
誤	投映法
正	投映法( <u>投影法</u> )